



戦略的芸術文化創造推進事業

障がいのある人による
芸術作品の国内外展示
及び作品保管・市場動向
調査事業 報告書



atelier incurve



アトリエ インカーブは、社会福祉法人(*1)を運営母体とする生活介護事業所(*2)です。
絵を描いたり、ものづくりが好きな知的に障がいのあるアーティストたちが、
それぞれのペースで日々創作に取り組んでいます。

彼らのなかには、人からの評価や作品をお金にかえていくことに執着がなく、
自身の創作活動を一心に楽しみたいアーティストがいます。
その一方で、作品を販売することで収益を得たいと願うアーティストもいます。
そして、それを実現できるアーティストがいます。
わたしたちは、彼らの創作活動に寄り添うことはもちろん、その願いも大切にしたいと考えます。

しかしながら、
そんな想いや障がいのある人たちの芸術活動を理解し、後押ししていきような仕組みが充実しているとは言えません。
福祉施設などでは、つくり手自身が望まないカタチに手を加えられたり、承諾のないままに破棄されてしまったり。
そういった場面も多いようです。
たとえば「著作権」という観点からみても、とても危うい扱いと言えます。
とはいえ、美術の専門知識がなければ、慎重に取り扱うことがむずかしいのも事実です。

また、障がいのある人による芸術作品は、「アール・ブリュット」や「アウトサイダー・アート」と呼ばれ、
国内でも専門的に紹介する美術館ができたり、各所で展覧会が開催されています。
もともとは、フランスの画家、ジャン・デュビュッフエが提唱した「アール・ブリュット」という概念。
そして、そこから派生した「アウトサイダー・アート」。

言葉の定義をたどれば、障がいのある人たちの芸術を指すものではありません。
しかし、こと日本においてそれらの呼称は「＝障がい者アート」という認識をもたれることも少なくはないようです。
はたして、アートの世界においても「障がい」という枠組みは必要なのでしょうか。

わたしたちアトリエ インカーブは、障がいのある人による作品を「現代アート」だと考えています。
彼らと彼らの作品を特定の「枠」におさめる必要はなく、いまこの時代に描くアーティストとして作品をつくる。
そこに障がいの有無は関係ありません。
生み出された作品はあくまで芸術作品として取り扱うように心がけ、アートの世界とその市場で発表を続けています。

そして、この度、
文化庁「戦略的芸術文化創造推進事業」の委託事業として、2度目の海外アートフェア出展に挑むこととなりました。

わたしたちアトリエ インカーブの挑戦が、福祉に携わる方々、
そして、障がいのある人たちのひとつの可能性と希望になることを願っています。

アトリエ インカーブ

*1 社会福祉法人 …社会福祉事業を行うことを目的として「社会福祉法」に基づき設立された公益法人。
社会福祉事業には、障がい者支援施設や老人ホーム、保育所などがあります。

*2 生活介護事業所…障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービスのひとつ。
日常生活上の支援、創作的活動又は生産活動の機会の提供など必要な援助を行います。



事業について

2015年1月、わたしたちはニューヨークの地で初の海外アートフェア出展を果たしました。

彼らの作品がはじめて海外でデビューしたのは2005年の冬、同じくニューヨーク。

当時は現地のギャラリーを通し、作品だけを委託・発表していました。

10年を経たいま、アトリエインカーブ自らが主体となってブースを構え、アートフェアの舞台に立っています。

そして、ニューヨークに次ぐ海外進出として、

アジアを代表する現代美術のアートフェア「Art Stage Singapore 2016」への出展が叶いました。

この度の事業では、

「Art Stage Singapore 2016」出展に至るアトリエインカーブの日常的な取り組みから、

アートフェアに向けた準備と出展にともなう現場の反応、日本とシンガポールの違いなど、

実践をふまえた、わたしたちの活動をご紹介します。

1 アトリエ インカーブの取り組み

- | | | |
|------|------------|-----------------------------|
| p. 5 | かかわる人たち | アーティスト／スタッフ |
| p. 6 | アートとデザイン | アート・作品／デザイン・グッズ／収益と分配／専門的就労 |
| p. 8 | 作品のアウトプット | 現代アートとして／ギャラリー インカーブ 京都 |
| p. 9 | これまでの展覧会など | 展覧会・アートフェア／シンポジウム・講義等 |

2 アートフェアに向けて ギャラリー インカーブ | 京都

- | | | |
|-------|--------------|--|
| p. 12 | 日常的な取り組み | 作品管理／アーティストに確認 |
| p. 14 | アートフェアに申し込む | アートフェアの審査／申請 |
| p. 16 | 作品の選定と外部の手配 | キュレーション／作品の準備／作品の配送／通訳者 |
| p. 18 | 現場のために用意するもの | アーティストのプロフィール／作品価格の設定／キャプション／プライスリスト／
チェックシート／作品証明書／デジタルツール |

3 アートステージシンガポール 2016

- | | | |
|-------|---------|--|
| p. 24 | 開催概要 | アートステージシンガポール／ギャラリー インカーブ 京都 ブース |
| p. 26 | 現場での業務 | 搬入・設営／撤去・搬出／フェアオープン・接客／購入の対応／会場・ブース撮影 |
| p. 28 | フェア後の業務 | お客さまへのお礼／顧客情報の整理／作品の受け取り／
アーティストへ報告・販売のお支払い |
| p. 29 | 出展を終えて | お客さまの反応／作品販売／事務局の対応／フェアと他ギャラリーの印象 |

4 まとめ

- | | |
|-------|---------------|
| p. 32 | 日本とシンガポール |
| p. 33 | アートフェアに出展すること |



1

アトリエ インカーブの取り組み

アトリエ インカーブは、社会福祉法人 素王会のアートスタジオ兼事業本部として2002年に設立されました。

特長は「アート」と「デザイン」に特化した活動で、

ものづくりが好きな知的に障がいがあるひとたちが、日々創作活動を行っています。

かかわる人たち



アーティスト

アトリエインカーブに通う知的に障がいがあるひとたち。作品制作に関する指導や管理を受けることなく、それぞれが思い思いのままのづくりをしています。制作手法もさまざま、絵の具や色鉛筆、画用紙やキャンパスなど、好みの画材で好みの作品をえがきます。10～15時が活動時間となっていますが、誰からも制作を強要されることはありません。現在、26名が所属。



スタッフ

主に芸術大学で美術やデザインを学んだ者がスタッフとして勤務しています。専攻は絵画、版画、彫刻、写真、グラフィックデザイン、建築などさまざま。スタッフの役割は、アーティストが心おきなく制作に取り組めるように環境をととのえること。環境とは、アーティストが望む必要な画材を揃えることや、ストレスのないスペースを確保することで、絵の描き方などの指導は一切行わず、作品に対する「良し悪し」の評価も行いません。また、スタッフの大半は「社会福祉士」と「学芸員」の資格を持ち、「福祉」と「アート」の分野における知識と技術を習得しています。現在、常勤で8名が勤務。

アートとデザイン

アート・作品

アーティストが個人で完結させるものが作品です。絵画や立体、アーティストによってさまざまな作品がつくられています。画材やサイズもそれぞれちが、完成までにかかる時間もそれぞれです。1日に数枚仕上げるアーティストもいれば、数ヶ月に1枚のアーティストもいます。



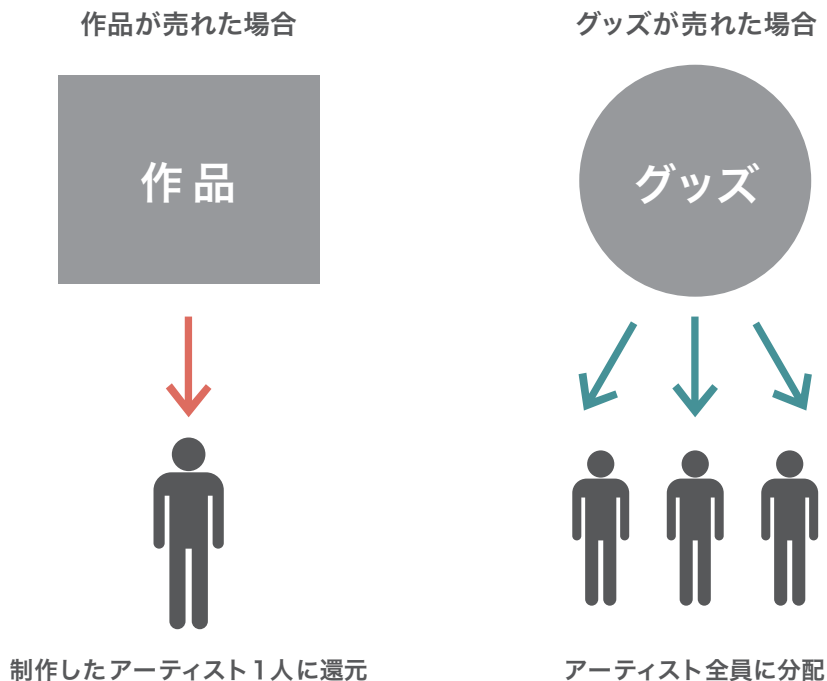
デザイン・グッズ

アーティストの作品をもとにして、スタッフがグッズを制作しています。作品現物を使うのではなく、あくまで作品をデータ化したイメージを利用しています。現在のラインナップは「ブックカバー」や「てぬぐい」「ポーチ」など全16種。アトリエ インカーブのオンラインをはじめ、ミュージアムショップやインテリアショップなどでお取り扱いいただいています。



収益と分配

作品とグッズ販売による収益は、必要経費を差し引き、アーティストに還元しています。必要経費には、作品の「額装費」や「輸送費」など、グッズでは「原材料費」や「人件費」などがあります。分配方法は、アーティスト個人で完成する「作品」は、それを制作したアーティスト個人にお支払いし、アーティストの作品をもとにスタッフがつくる「グッズ」は、アーティスト全員に分配しています。ただし、グッズのもとになった作品のアーティストには「作品の利用料」をお支払いしています。



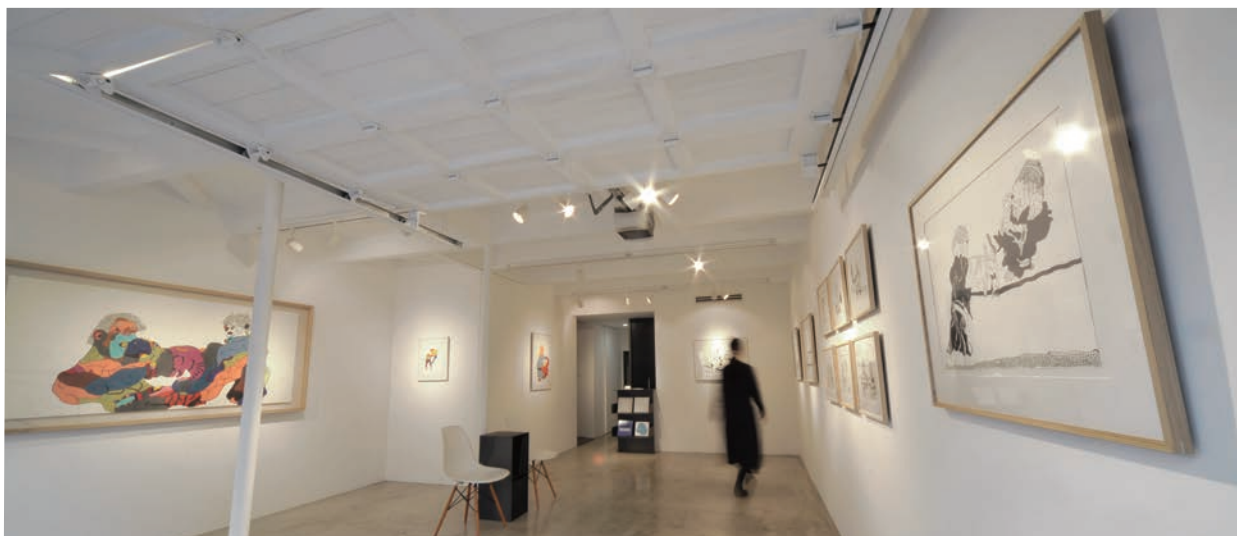
専門的就労

厚生労働省・文部科学省主催により開催された懇談会(2007-08)や、文部科学省・厚生労働省・国土交通省事務次官会議(2007)にアトリエインカープの今中代表が出席し、知的障がいがある人の新しい働き方として、「専門的就労」を提言しました。「専門的就労」は、福祉的就労(企業の下請け等の単純作業など)に対してアトリエインカープがつくった考え方です。一定の雇用関係によらず時間に束縛されないで、特別な技能・技術・知識に基づき独立して営む職業と定義しました。たとえば、画家・音楽家・舞踏家などがそれにあたります。

作品のアウトプット

現代アートとして

アトリエ インカーブでは、アーティストたちの作品を「現代アート」として発表しています。障がいのある人による作品は、「障がい者アート」や「アール・ブリュット」、「アウトサイダー・アート」といった名称で括られることもあります。その名称が「烙印＝スティグマ」となって、アーティストたちを狭いカテゴリーに押し込めてしまうこともあるのではないのでしょうか。アートはフラットな世界であり、性別・年齢・国籍・障がいの有無に関わらず、生み出される作品の芸術性を、誰しも認められる可能性を秘めています。その可能性をしめすためにも、「現代を生きるひとが描くアート＝現代アート」と位置付けているのです。



ギャラリー インカーブ | 京都

アトリエ インカーブ専属の商業ギャラリー(*1)として2010年、京都に開廊。以降、年3回ほどの個展・グループ展を開催しています。各展覧会には、外部からファッションデザイナーやアートディレクターなどをゲストキュレーター(*2)として招き、アーティストや作品の選考、展示構成をお任せしています。運営やお客さまのご案内はアトリエ インカーブのスタッフが兼任しており、アーティストの制作などをしっかりお伝えできるよう心がけています。

*1 コマーシャルギャラリー…展覧会を企画し、作品販売を行うギャラリー

*2 キュレーター…アーティストや作品を選び、展覧会の企画や展示構成を行う人

〒604-8824 京都市中京区壬生高樋町60-18

t / f 075-200-4797 info@g-incurve.jp http://g-incurve.jp

これまでの展覧会など

【展覧会／アートフェア】

◎海外

- 2016 アートステージ シンガポール 2016 (シンガポール)
2015 スコープ ニューヨーク (ニューヨーク)
2014 「PARALLELS」 ジャックフィッシャー・ギャラリー (サンフランシスコ)
アートジュネーブ (ジュネーブ)
2013 マイアミプロジェクト (マイアミ)
2011 「The Museum of Everything Exhibition #4」 セルフリッジ (ロンドン)
2008 「KATSUHIRO TERA0」 フィリス・カインド・ギャラリー (ニューヨーク)
2007 「ATELIER INCURVE」
ジャック・フィッシャー・ギャラリー (サンフランシスコ)
2006 「DOI TERA0」 フィリス・カインド・ギャラリー (ニューヨーク)
2005 「INTERIOR MOTIVES」 フィリス・カインド・ギャラリー (ニューヨーク)
インテュイット・ショウ (シカゴ)
「TERAO」 フィリス・カインド・ギャラリー (ニューヨーク)
アウトサイダー・アート・フェア (ニューヨーク)

◎国内

- 2016 アートオリンピック2015 (大阪)
2013-16 アートフェア東京 (東京)
2010-16 ギャラリー インカーブ | 京都 (京都)
2014 「farm by foster アトリエ インカーブの三人展」
hiromiyoshii roppongi 2F farm (東京)
アート大阪 (大阪)
2013 「阪本剛史 絵画展 色彩の運動会」
伊勢丹新宿本館 アートギャラリー (東京)
ニューシティアートフェア OSAKA (大阪)
2012 「5 Colors from atelier incurve」 銀座三越 ギャラリー (東京)
「寺尾勝広・新木友行・湯元光男ー アトリエ インカーブ 3人展」
東京オペラシティアートギャラリー (東京)
アート京都 2012 (京都)
2011 「TERAO」 GALLERY NYH (愛知)
2010 「atelier incurve exhibition in tokyo 2010」 丸の内ハウス (東京)
「アトリエ インカーブ展」 浜松市美術館 (静岡)
2009 「えがく アトリエ インカーブ展」 高梁市成羽美術館 (岡山)
2008 「アトリエ インカーブ展」 燕子花別館 (東京)
「PURORESUMAN」 国立新美術館SFT ギャラリー (東京)
「現代美術の超新星たち アトリエ インカーブ展」
サントリーミュージアム[天保山] (大阪)
2007 「アトリエ インカーブ エキジビション&トーク・セッション」
株式会社電通 電通ホール (東京)
2006 「寺尾勝広『展覧会』」 小出由紀子事務所 (東京)
2005 「Aランチ」 AXISビル アクシス・ギャラリー・アネックス (東京)

【シンポジウム・講義等】

- 2003-16 熊本市現代美術館 / 大阪市立大学都市研究プラザ /
東京藝術大学 / 金沢美術工芸大学 / 沖縄県立美術大学 /
愛知県立芸術大学 / 同志社大学 / 熊本大学 /
サントリーミュージアム[天保山] /
文部科学省・厚生労働省・文化庁 / 株式会社電通

【新聞】

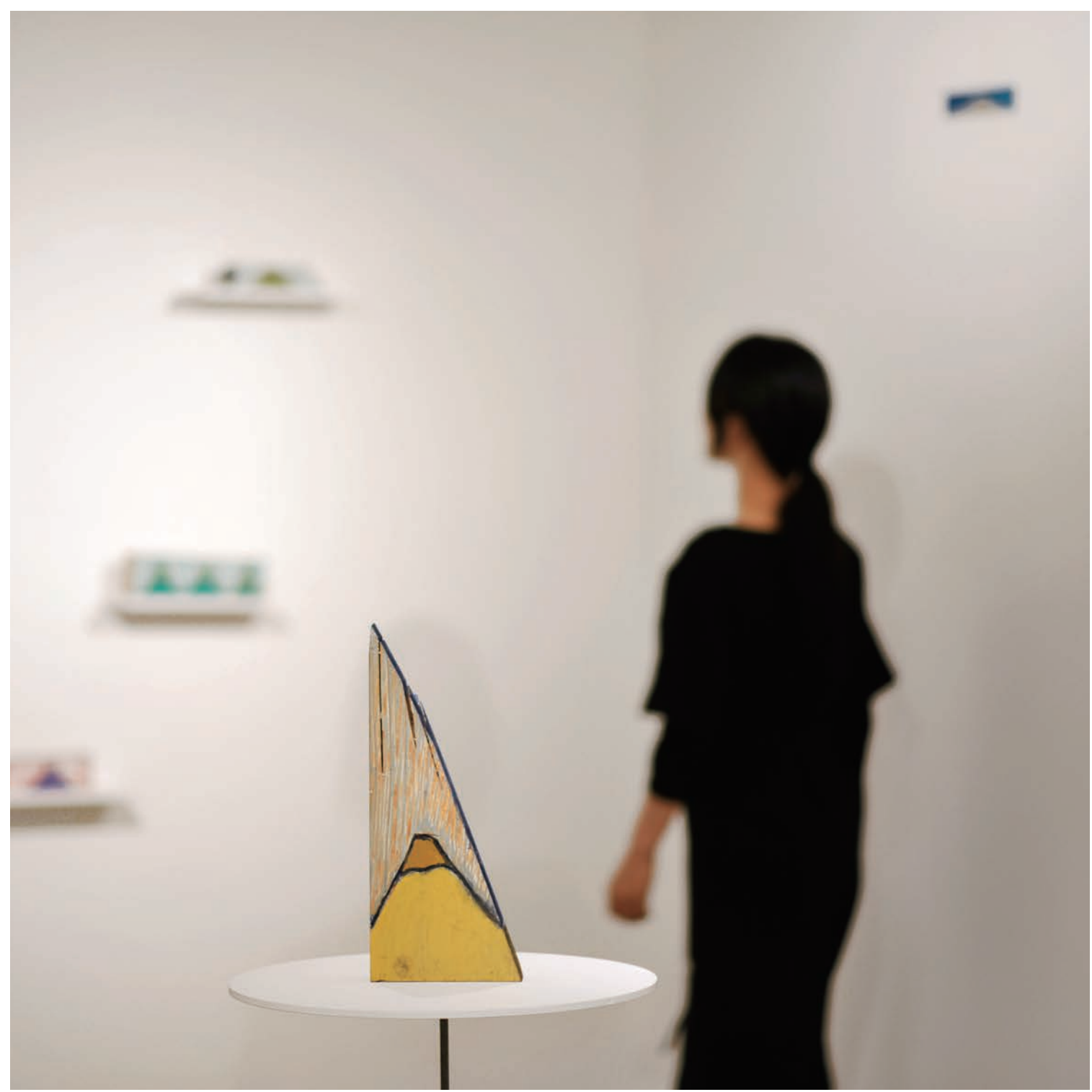
- 2003-16 朝日新聞 / 読売新聞 / 毎日新聞 / 日経新聞 /
産経新聞 / 共同通信 等各紙にて特集記事多数掲載

【テレビ】

- 2003-16 福祉ネットワーク(NHK総合) / NNNドキュメント'08(日本テレビ) /
イブニング・ファイブ(TBS) / ニューススクランブル(読売テレビ) /
新日曜美術館(NHK教育) / NEWSゆう(朝日放送)

【雑誌】

- 2003-16 芸術新潮 / 家庭画報 / 宣伝会議 / 美術手帖 / POPEYE /
BRUTUS / FIGARO japon





2

アートフェア出展にむけて ギャラリー インカーブ | 京都

国内外ではさまざまなアートフェアが開催されています。

フェアのコンセプトや規模、出展費用などを調査し、「現代アート」をテーマにしたフェアに参加しています。

通常、出展には審査があり、フェアごとに設定された要件をクリアする必要があります。

たとえば、申請者はギャラリーであることが基本条件の場合も多く、

フェアにはギャラリー インカーブ | 京都として参加しています。

ここでは、アートフェア出展に向けた日々の取り組みや準備・制作物などをご紹介します。

日常的な取り組み

作品の管理 データ化と保管

スタッフの日常業務として、作品の管理と保管、データ化を行っています。

展覧会や作品購入のご要望などをいただく際は、この地道な下準備が役立ちます。

①作品完成

可能なアーティストは自身で日付・名前を記入。使用した画材やモチーフなども記録しておきます。



②データ化

作品のスキャン、もしくは撮影をします。

この際に作品の管理ナンバーを付け、「タイトル」「素材」「サイズ」「制作年」などをデータベースに登録します。

*データベースには、「File Maker」というソフトを利用しています。



③保管

作品を保護用紙でくるみ、各アーティストの保管場所へ。

*保護用紙は、作品保管に適した「無酸」の専門紙を使用しています。



アーティストに確認

作品を展覧会に出品したり、購入希望があった際には、アーティスト本人に確認を行っています。

アーティストによって対応はさまざまで、いくつかのケースをご紹介します。

Aさん…販売について理解があり、意思表示もある。

アーティスト自身から売ってもいい作品と、手元においておきたい作品を聞きとる。

Bさん…理解はむずかしいが、自分の手元から作品がなくなるのは嫌という意思表示がある。

展覧会は行いが、作品はすべて非売に。

Cさん…販売の認識や意思確認がむずかしい。

創作や作品に対してのこだわりなどをふまえた上で、ご家族と相談しています。

！アーティストへの発表・告知は慎重に…

展覧会に出品できるアーティストがいる一方、できないひともいます。

とくに、出品できないアーティストのことを考え、アトリエ インカープ内での展覧会のお知らせは慎重に行っています。

たとえば、大々的な発表は控え、出品アーティストには個別でお伝えしたり、全体へのお知らせはご家族へのお手紙のみで行うなど、お伝えする時期や方法を考慮し、日常の取り組みのなかで特定のひとだけが目立たないように心がけています。

また、出品できるアーティストに対しても、毎回の展覧会に参加できるわけでないことをお伝えしています。

展覧会には、作品を見てもらえる喜びがある反面、出品できなくなる悲しさもはらんでいるからです。

＊出品アーティストと作品の選定方法については、「キュレーション アーティストと作品をえらぶ (P. 16)」をご参照ください。

！保管する（非売）作品について…

アーティストのターニングポイントになるような作品は、アトリエ インカープの判断で非売作品として保管することもあります。

たとえば、将来的に美術館などで大々的な個展が開催される際など、そういった作品が出品されることもあるためです。

どの作品がターニングポイントとなるのか、アーティストの制作を日常的に見守ることで判断しています。

！著作権について…

作品にかかる著作権は、アトリエ インカープに帰属（アーティストとの契約のもと）しています。

ただし、あくまでアーティストの作品を守ることが主目的であり、作品の売買やイメージを利用する場合には、上記のようにアーティストに確認をとっています。

！成年後見制度について…

自己判断がむずかしい場合、成年後見制度の利用という選択がありますが、

現時点ではアトリエ インカープ所属アーティストのなかに利用者はいません。

制度の内容や手続きの複雑さを感じるご家族も多く、なかなか利用にふみきれないのが現状のようです。

ご家族によっては、制度の利用が必要なほど切迫した状況ではないといったご意見もあります。

アートフェアに申し込む

アートフェアの審査

アートフェアへの出展には、審査に通る必要があります。必要条件としては、「コマーシャルギャラリーであること」、「年に最低3回の展覧会を行っていること」など、フェアによって基準はさまざまです。今回の「ART STAGE SINGAPORE 2016」では、申請するブースの形式によって基準が定められており、共通の要件としてブースの展示プランを提出しなければなりません。ブースの形式には、①「ゼネラルブース」もしくは②「プロジェクトブース」の選択肢がありました。

①ゼネラルブース…一般募集

ブースサイズは35㎡、50㎡、75㎡、90㎡などの選択肢がありました。

サイズによって出展費用は異なり、およそ230～550万円ほどのひらきがあります。

この費用を工面できることを前提として、他には以下のような要件があります。

- ・少なくとも3年以上ギャラリーを運営していること
- ・クオリティの高い展示プランを構成できること など

②プロジェクトブース…1名のアーティストによる個展

ブースサイズは25㎡（約115万円）のみで、

主に出品するアーティストと作品に関する以下のような要件がありました。

◎出品アーティストに関して…

- ・アジア太平洋圏出身であること
- ・少なくとも5年以上、現在の制作を追究し続けている
- ・少なくとも1年以上の経歴があるギャラリーにおいて発表されている など

◎提案する展示プラン（作品）に関して…

- ・明快で首尾一貫したコンセプトに基づく、並外れた企画である
- ・3年以内に制作された作品である など

申請

アートフェアへの申請には、ギャラリーの経歴やコンセプト、取り扱いアーティストのラインナップをはじめ、展示プランを事前に提出しなければならない場合があります。今回は出展条件にあわせ、2通りの案を提出しました。展示プランには模型をつくりイメージを伝えやすくしています。



①プランA

ゼネラルブース：グループショウ

出品アーティスト：寺尾勝広・新木友行・阪本剛史



②プランB

プロジェクトブース：個展

出品アーティスト：寺尾勝広

！審査に通るために…

申請の要件をクリアしていたとしても、審査に通るのは一筋縄ではいきません。

合格の確率を少しでも上げるために、アートフェア事務局に問い合わせを行いながら、

申請内容を確認していきました。

その結果、今回はひとつのブース形式に絞るのではなく、2通りのプランを申請しました。

！スタッフの英語力も必要…

アートフェアの現場における細かい接客対応などでは、外部の通訳者に頼ることもありますが、

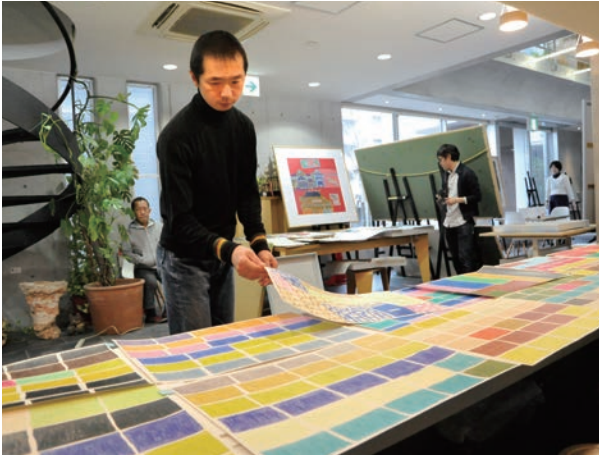
申請時の書類作成や事務局との交渉などは、アトリエインカーブのスタッフが行っています。

そのため、スタッフがビジネスにおける最低限の英語力を有していると手続きがスムーズになります。

審査結果としては、事務局の判断により、申請していたプロジェクトブースではなく、ゼネラルブースの枠組みとして、「寺尾勝広さんの個展」形式での出展が決まりました。

このように、申請時に事務局からアドバイスをもらったり交渉を行っておくことで、事務局側でも出展の可能性を探り、柔軟な対応をとってくれることがあります。

作品の選定と外部の手配



キュレーション アーティストと作品をえらぶ

2014年より3年間は、デザイナーの八木良治さんにキュレーションをお願いしています。今回の「ART STAGE SINGAPORE2016」出展においても、作品の選定にご協力いただきました。

八木良治氏 1963年生まれ。有限会社八木デザイン代表。デザイナー、アートディレクター。2011年、GALLERY NYHを開設し、オープニング展「TERAO」を開催。受賞：日経広告賞（企業広告賞）、消費者のためになった広告賞、愛知県広告協会賞ほか。

！外部にキュレーションを依頼する理由…

日常を共にするアーティストとスタッフは、よくもわるくも密接な関係です。Aさんの作品は選んで、Bさんは選ばない。アトリエ インカーブのなかでは、スタッフの主導によってそういった差異が生じないように心がけています。そのため、機会の公平性が保たれるように、第三者の目を持って作品が選ばれるようにしています。また、特定の方にキュレーションしていただく期間（3年間など）を設けるのは、アトリエ インカーブ全体の活動や、アーティストの制作（作風の変化など）を俯瞰していただきながら展覧会の構成をしていただくためです。



作品の準備

作品を展覧会などに出品する際には、作品を額に入れたり、キャンバスを木枠に張ったり、展示ができるように準備をします。額は専門の額屋さんに外注し、作品を額装する作業はスタッフで行います。あわせて、作品と額を保護するための箱（差し箱）も作成しています。今回の展示にあわせ、額のフレームも白と黒に塗装しました。

！専門スキルを有した人材…

こういった展覧会に向けた準備を行うなかで、専門的な実務が出てきます。アーティストの作品やその特性を理解しつつ、作品を丁寧に扱える技術と知識を有した人材が必要だと言えます。そのため、アトリエ インカーブのスタッフの大半は学芸員資格を取得しています



通訳者

シンガポールでは、主に英語と中国語が公用語として使われているので、両言語を話せる方にご協力いただきました。アーティストのことをより正確に通訳いただくために、あらかじめ、アトリエ インカープの活動やアーティストの制作・作品について情報共有を行いました。

！通訳でもギャラリースタッフ…

外部の通訳者といっても、会場に来られるお客さまにとってはひとりのギャラリースタッフです。接客のスタンスや態度など、意思の疎通を行っておくことが大切です。



配送会社

作品を海外へ送る場合、いくつかの選択肢があります。大きくは飛行機と船とに分かれますが、いずれも美術輸送を得意とする専門の会社へ依頼したほうがよいでしょう。サイズや重量によっては、旅客機での手荷物として運ぶこともできますが、安全面や税関などの手続きを考慮すると専門家への委託が安心です。今回のシンガポールでは、専門会社に委託し、船便での輸送を行いました。航空便にくらべ、船便は時間が必要です。アートフェア会期の約1ヶ月前には作品を引き渡します。基本的には、作品の保管場所（アトリエ インカープ）からシンガポール現地の会場まで、ドアtoドアで請け負ってもらえます。木箱の作成や輸出入の税関手続き、保険なども一括して管理してもらえるので、大切な作品を海外に送るうえで心強いパートナーとなります。

（今回委託した専門の会社：新和ショッピング株式会社）

！作品の輸出入…

安全な梱包や通関の手続きなど、専門的な技術や知識が必要です。出費がかかりやすいところではありますが、専門家をお願いする方が、現地での作品移動や必要書類の作成など、格段に負担がなくなります。結果的に、費用面も抑えられる可能性があります。

現場のために用意するもの



アーティストのプロフィール

アートフェアの会場はたくさんの来場者が訪れ、売買の交渉も行われます。そのため、アーティスト自身がブースに立つのは精神的に負担が大きくなることもあり、基本的には接客はスタッフが行っています。とはいえ、お客さまからはアーティストのことを知りたいというご要望もあるため、会場配布用にアーティストのプロフィールを作成しています。内容はアーティストの紹介、展覧会の経歴、代表作品などを。他には、ホームページとメールアドレスなど、ギャラリーのインフォメーションも記載しています。現場でのお客さまとのコミュニケーションツールになるとともに、ギャラリーの広報物にもなります。

！多国籍のお客さまに向けて…

プロフィールなど広報用の資料は、基本的に日本語・英語のバイリンガルで作成しています。必要な言語は現地の公用語にもよりますが、より多くの人に知っていただき、販売などの機会を創出するためにも、言語をはじめ、アーティストや作品の情報など、資料の内容を充実させるように心がけています。

作品価格の設定

作品の価格に関しては、はじめて値段が設定されたニューヨークでの価格を基準としています。その後、美術館での展覧会歴や販売実績などを考慮し、アーティストごとに価格を算出しています。アーティストによって作品数や素材、サイズもちがうため、それぞれにあった個別の価格設定を行います。

！価格設定は慎重に…

アートマーケットでは、一度設定した価格を下げることは難しいです。とくに、すでに購入者がいる場合、自分の購入価格よりも安く販売されていると嬉しくはありませんし、価格が下がると、アーティストの評価も下がっているような印象を与えかねません。



パンフレット・画集など

出品アーティストだけではなく、アトリエ インカブの活動にご興味を持ってくださるお客さまもおられます。そういった方々にお渡しするための資料として、日本語・英語バイリンガルの「パンフレット」や「画集」なども用意しておきます。お客さまだけでなく、フェアの事務局やギャラリーなどにもお配りしています。現場に出向くにあたり、ギャラリーやアーティストを知っていただくために、できる限りの準備をしておきます。



デジタルツール ipad

接客に役立つツールとして、作品データや制作風景の映像をipadに入れています。よりわかりやすくアーティストの紹介ができたり、展示している作品以外もご提案ができます。内容を充実させるためにも、日常の作品管理やアーティストのコミュニケーション、制作の進行を把握しておきます。

海外用の携帯電話・Wi-Fi

フェアによっては会場にwi-fi設備が用意されていますが、念のために用意しておく心安心です。



キャプション

作品タイトル、素材、制作年、価格がわかるように、展示作品の近くに配置します。お客さまが認知しやすいように作成することはもちろんですが、作品と展示の邪魔にならないように素材やサイズ、配置も検討しています。

		ART STAGE SINGAPORE 21-24 JAN '16				
Title	Year	Materials	Size	No.	Price with Frame (included tax)	
 Monsters and Blueprint of Iron	2014	scratch on copper- coated board	31 × 43.2 inches	01-0877	SGD\$	\$ 30,780
 Singapore Katong Houses	2013	pen on canvas	43.7 × 43.7 inches	01-0924	SGD\$	\$ 31,800
 Incurve Factory	2013	scratch on copper- coated wood panel	45.9 × 45.9 inches	01-0890	SGD\$	\$ 33,780
 Two Girders	2013	pen on canvas	4.9 × 4.9 inches	01-0920	SGD\$	\$ 370
 Kirita Shiguchi	2014	pen on paper	9.8 × 9.8 inches	01-0886	SGD\$	\$ 1,780
 Singapore Marina (Bay)	2013	pen on canvas	17.9 × 26.8 inches	01-0914	SGD\$	\$ 2,550
 Building of Singapore	2013	pen on canvas	16.7 × 24.7 inches	01-0910	SGD\$	\$ 1,780
 Baseball Robot	2012	pen on paper	8.2 × 11.6 inches	01-0916	SGD\$	\$ 1,530
 Building of Singapore	2013	pen on canvas	7.4 × 13.1 inches	01-0912	SGD\$	\$ 1,780
 Pottery Building Under Construction	2013	pen on canvas	43.7 × 43.7 inches	01-0913	SGD\$	\$ 31,800
 Buddha Tooth Relic Temple and Museum Tower	2013	pen on canvas	23.4 × 23.8 inches	01-0923	SGD\$	\$ 3,850
 Singapore Souvenir Bottles	2013	pen on canvas	6.2 × 8.9 inches	01-0908	SGD\$	\$ 890
 Singapore Tower	2013	pen on canvas	19.4 × 11.1 inches	01-0911	SGD\$	\$ 2,290

プライスリスト

展示している作品を画像とともにリストにしたもので、キャプションと同様の情報を記載しています。お客様が価格を比較しながら購入を検討したり、スタッフの確認用にもなります。

PURCHASE AGREEMENT

Thank you for your purchase. Please verify the following matters in advance.
All the artworks exhibited in Gallery Incurve Kyoto are the possessions of Atelier Incurve, and the copyright shall remain with Atelier Incurve.

[COPYRIGHT and OWNERSHIP]

After purchasing an artwork, the OWNERSHIP of the artwork is transferred to the purchaser, and the COPYRIGHT remains with Atelier Incurve. The purchasers are required to receive the permission of Atelier Incurve to use the purchases on non-private occasions, with the exception of the purchaser's private use (e.g., exhibition at home). Non-private use includes posting the images of artworks on websites/magazines, distributing reproductions, and commercial use such as producing merchandise based on the original artworks. When a brochure/catalogue of Atelier Incurve is published, the publication is allowed to contain images of the purchased artworks on the condition that the purchasers are notified beforehand. If necessary, the purchasers are expected to cooperate in free lending of the artworks to an exhibition of Atelier Incurve.

[REFUNDS AND CANCELLATION POLICY]

Unfortunately, we are unable to offer refunds or exchanges on purchased pieces. If the works should get damaged during shipping which we arranged, please contact us as soon as possible at: info@incurve.jp

[PURCHASER'S PERSONAL DATA]

Purchaser's name and address, etc. must be kept on file at Atelier Incurve in order to record the location of the artworks. On resale, the new purchaser's name and address must also be recorded.
* Personal information is strictly protected and never used for other purposes.

After confirmation of the contents above, please check off the following points.

THE ARTWORK YOU ARE PURCHASING

Artist _____
Title _____ (item number - _____)
Price \$ _____ (tax included)
• Shipment ☐ necessary (\$) ☐ NOT necessary
• Payment ☐ cash ☐ credit card ☐ check ☐ bank transfer (\$) _____ in advance

The Remittance

Bank name: Sanitomo Mitsui Banking Corporation (Swift code: SMBC JP JT)
Branch name: Tennoji-ekimae Branch
Account number: 1531082
Account name: Imanaka Hiroshi Atelier Incurve

The purchaser should fill in a set of these check sheets and send one copy back to Atelier Incurve.

Date _____

Name (in print) _____ Signature _____
Address _____
Telephone _____
Email _____



gallery incurve kyoto
65-18 15th Yabuta-cho Nagaoka-ku Kyoto 604-8024, Japan Tel/Fax: 075-289-4707 info@incurve.jp http://g.incurve.jp

作品証明書

CERTIFICATE OF AUTHENTICITY



作家	寺尾博広	Artist	Katsushiro Terao
タイトル	ばけものよとつづめん	Title	Monsters and Blueprint of Iron
制作年	2014	Year	2014
素材	インク、クレヨン、スクラッチ/ベニ	Mediums	scratch on crayon-coated board
サイズ	840×1760 mm	Size	33×69.2 inches

署名/Signature _____ 2016年1月10日 January 10, 2016

社会福祉法人 楽正会 アトリエ インカーブ

〒547-0023大阪府平野区広範南1-118
Tel 06-6707-0103/Fax 06-6707-0175
info@incurve.jp http://incurve.jp

当店のご購入の際は、作品複製の権利等はご購入者に譲渡しますが、作品は複製権はインカーブが所有します。従って、当店の許可なく複製や再販などは法的に作品を再販する場合には、アトリエ インカーブの承認を必要とさせていただきます。また、アトリエ インカーブが複製や再販を行う場合は、ご購入者に事前に通知し、ご購入作品を複製するものとします。尚、複製権はご購入作品の複製権とは異なり、再販を行うことがありません。ご了承ください。

Social Welfare Foundation SOOHKA atelier incurve

1-1-18 Urawatsumi Hirano-ku Osaka 547-0023, Japan
Tel 06-6707-0103/Fax 06-6707-0175
info@incurve.jp http://incurve.jp

After purchasing an artwork, the ownership of the artwork is transferred to the purchaser, and the copyright remains with Atelier Incurve. The purchasers are required to receive the permission of Atelier Incurve to use the purchases on non-private occasions, with the exception of the purchaser's private use (e.g., exhibition at home). Non-private use includes posting the images of artworks on websites/magazines, distributing reproductions, and commercial use such as producing merchandise based on the original artworks. When a brochure/catalogue of Atelier Incurve is published, the publication is allowed to contain images of the purchased artworks on the condition that the purchasers are notified beforehand. If necessary, the purchasers are expected to cooperate in free lending of the artworks to an exhibition of Atelier Incurve.



チェックシート

作品をご購入いただく際に、お客さまにご確認いただくための「チェックシート」を作成しています。「著作権」や「お客様の個人情報」に関することをまとめており、ご購入時に内容を確認していただけます。ご購入作品はお客さまの手元に渡りますが、自由に作品を扱ってもらえるわけではありません。たとえば、作品を撮影し、ポストカードなどの商品にして販売していただくことはできません。また、美術館などで大規模の個展を行う際には、購入された作品の貸し出しをいただく可能性もあるため、作品の所在を把握できるようにしています。

作品証明書

ご購入いただいた作品には、アトリエ インカーブ発行の「作品証明書」をお付けしています。作品をアーティスト本人が制作したことを証明するためのもので、作品画像や素材などの情報とともに、アーティスト自筆のサインも記載しています。



B1
GALLERY
INCURVE
KYOTO

KYOTO



3

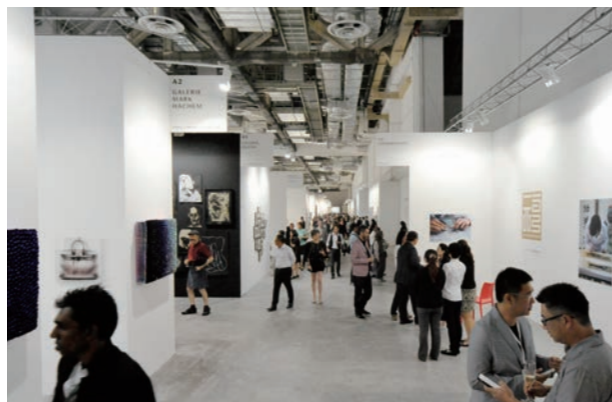
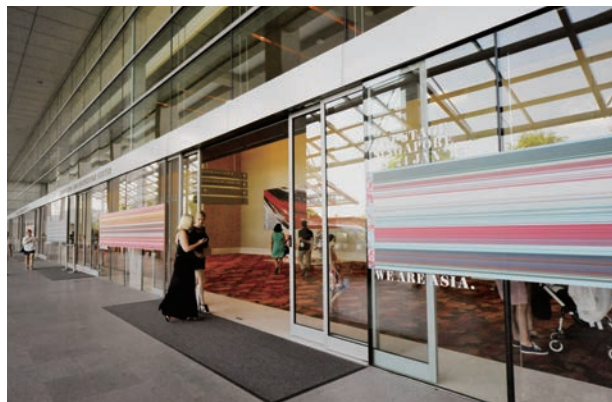
アートステージシンガポール

ART STAGE SINGAPORE 2016 はアジア最大級の現代美術のアートフェアで、今回で6度目の開催となります。

ギャラリーインカーブ|京都は初の参加となりました。

実践を通じた現地の様子をお伝えいたします。

開催概要



アートステージシンガポール

会期 : 2016年1月21-24日 20日/PRESS・VIPベルニサージュ

設営 : 18-19日 撤去: 24-25日

会場 : マリーナベイサンズ

出展ブース : 約170 (日本ギャラリー数: 26)

参加国・都市: ニューヨーク、パリ、ロンドン、ベルリン、韓国、香港、上海、台北、ジャカルタ
シンガポールなど多国籍が参加 約30ヵ国。



ギャラリー インカーブ | 京都 ブース

出展形式 :ゼネラルブース

アーティスト:寺尾勝広

ブースサイズ: W5×D5×H4 m

出展費用 :1,948,147円 (ブース基本料:1,654,440円/照明・壁塗装のオプション:293,707円)

作品数 :展示作品 - 18点 (平面17点/立体1点)

予備作品 - 34点 (すべて平面/ファイルに入れて持参)

作品価格 :5万~250万円

現場での業務



搬入・設営

搬入は輸送会社の新和 SHIPPING の手配で、ブース内に作品が運ばれます。木箱の状態で置かれているので、スタッフ立ち合いのもと開梱していただきます。設営はスタッフで行います。あらかじめ想定していたプランで進めながら、現場でバランスを見て展示の位置や作品の数量を調整します。今回は 2 名のスタッフで行いました。現地の専門業者に設営までを委託するギャラリーもあるようです。

撤去・搬出

会期が終われば作品の撤去を行います。販売作品と日本に送り返す作品を分け、差し箱や木箱に梱包していきます。設営同様にスタッフ 2 名で行いました。搬出は新和 SHIPPING さんの手配になります。荷物の数量を双方で確認し、問題なければそのまま預けて終了です。



フェアオープン・接客

会期の構成

プレビュー：20 日 16:00-21:00

一般会期：21-24 日 12:00-19:00（日によって時間帯は変動）

プレビューは一般会期の前日に行われ、コレクターや美術関係者、プレスメディアが集まります。ワインや軽食なども用意され、フェアではこうしたプレビューの時間帯に作品売買が活発に行われるようです。一般会期には美大生などのお客さまも多くなり、購入よりは見学・視察に来られる人もいます。シンガポールでは、教員同伴のもと社会見学のような形で学生が訪れており、マレーシアやインドネシアなど、近隣諸国からも若い生徒さんがたくさん集まっていました。接客は、プロフィールをお渡ししながら作品の説明を行います。全体的にしっかりと耳を傾けてくださる方が多く、より興味を持ってくださる方々には、用意していた「パンフレット」や「画集」をお持ち帰りいただきました。また、会場内には、VIP ラウンジやカフェスペースなどが併設されており、お客さまがフェアを満喫できるように工夫されています。



購入の対応

作品の購入希望をいただいたときは、お支払い方法や作品の引き渡し方法など必要な情報を聞き取ります。その際には、「チェックシート(P.21参照)」にそって内容を確認することができます。また、アーティストにどんな方が作品を購入くださったかをお伝えするため、お客さま同意のもと、お客さまご自身の写真も撮らせていただいています。今回のご購入では、クレジットカードでのお支払いと、現地配送業者からの引き渡しを行いました。現地の配送業者は、新和ショッピングさんに調整を行っていただきました。

！フェアでの購入（精算）対応…

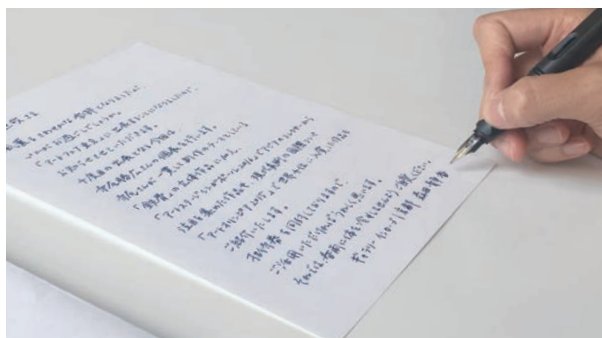
実績のある大きなフェアでは、事務局側でクレジットカード払いの対応をしてくれます。数%の手数料は差し引かれますが、精算手続きの負担がなくなります。小切手や銀行への振り込みも可能ですが、海外の場合、銀行への送金は手数料が割高です。また、作品のお渡しはお客さまからの精算が済んでからにしています。そういった面でも、現金やクレジットカードならその場でお支払いいただけるので安心です。



会場・ブース撮影

記録用に会場とブースの様子を撮影しておきます。写真だけでなく、動画も残しておくことで後々の紹介に使うことができます。会場全体、ブース内の作品、接客など、さまざまなシーンをおさえておくことで役立ちます。フェアによっては撮影の許可が必要な場合がありますので注意が必要です。

フェア後の業務



お客さまへのお礼

アーティストの活動を応援してくださる方々はとても大切です。作品のご購入者はもちろん、ご興味を持ってくださった方やフェア事務局などお世話になった方々に、お手紙やメールでお礼をお伝えします。

ふりがな	やまもと ほなこ	☒ DM送る	☐ 寄付
氏名	山本 花子		
法人名	社会福祉法人アトリエ インカーブ		
郵便番号	547-0023		
住所	大阪府大阪市平野区瓜破南1-1-18		
電話番号	06-6707-0165		

顧客情報の整理

展覧会など今後の情報をメールなどでお知らせするため、お名刺をいただいた方やメール配信をご希望の方などの連絡先をデータベースに登録しておきます。アーティストのファンを地道に増やしていくことも、わたしたちスタッフができるサポートのひとつです。



作品の受け取り

シンガポールからの復路で作品が戻ってきます。手続きは往路同様に新和 SHIPPINGさんが手配を行ってくれます。日程を調整して作品を受け取ります。



アーティストへ報告・販売のお支払い

会場やブースの写真を見ていただきながら、アーティストに現地の様子と販売の報告をしています。お支払いに関しては、海外からの精算に時間がかかるので、おおよそのお支払い時期をお伝えしています。金額は作品販売額から必要経費（40%に設定しています）を差し引き、残りをアーティストにお渡ししています。

出展を終えて



お客さまの反応

作品や展示構成は、とても好評価でした。作品には、「アメイジング!」「ビューティフル!」などアーティストの表現を評価する言葉が多く、ブースとしては、白黒に構成されたレイアウトが好評で撮影スポットにもなっていました。また、アーティストの「障がい特性」などについて言及されることはなく、アートとしての目線で作品を ご覧頂いていたようです。

！よく聞かれたこと…

アーティストの年齢、作品の素材、作り方、制作時間、活動拠点のほか、日本国内での知名度など。国はちがえど、日本国内、ニューヨークでも同様のことを聞かれることが多く、作品を発表する際には、接客スタッフは最低限おさえておきたい情報です。

作品販売

シンガポール在住のご新規のお客様から1点の販売がありました。たった1点、という印象をいただけるかもしれませんが、国内外の出展を通して、作品販売はそれほどあまくはないと身にしみて実感しています。販売にはギャラリーとアーティストの認知度も大きく、地道に出展回数を重ねたり、現地での露出を増やしていく必要があると感じています。アートフェアのような販売を伴う場所だけではなく、美術館などでの発表は、アーティストの経歴と作品の価値づけにつながるがあります。また、フェア会期中に販売がなくても、後日ご購入のご希望をいただくこともあります。現地で関心を持ってくださったお客さまからのご紹介や、ブース内で配布するアーティストのプロフィールやパンフレットなど、細かな宣伝がアフターセールにもつながっていきます。

事務局の対応

アートフェアの規模や開催実績によってフェア事務局の対応が異なります。とくに、マニュアルに記載されている情報量や質疑などに対する迅速さが違う印象です。土地勘がなく現地の人的ネットワークもない場合は、準備から現地での段取りは事務局の信頼性が大きく影響しそうです。今回のシンガポールでは、アジア最大規模ということもあり、事務局は申請段階から丁寧な対応でした。

フェアと他ギャラリーの印象

若い学生さんたちの来場数からも伺えるように、アートを浸透させていく取り組みがなされているようです。老若男女を問わずフェア会場が賑わっていました。草間彌生のような著名アーティストを扱うギャラリーも多く、その認知度に比例して売買取手が成立しやすいようでした。展示方法としては、目玉となる大型の作品をブースの前面に配置し、購入しやすいような小品も用意しているギャラリーが多かった印象です。接客においても、アーティストや作品の魅力を積極的に伝えようとするギャラリースタッフも多く、お客さまが親しみやすいように、アジアや西欧など多国籍にスタッフを起用しているギャラリーもありました。





4

まとめ

アートがどのように受け入れられ、マーケットとして成立しているのか。

ART STAGE SINGAPORE 2016 の実践を通し、国内とは違った評価の基準やアートフェアを知ることができました。

また、日常の取り組みからアートフェアに向けた準備など、数々の業務をこなしながらも、社会福祉法人としてその舞台に挑む意味とは。実践と結果を踏まえ、その意味を考え続けています。

日本とシンガポール

アート、とくに「現代アート」は、文化としてどれだけの歴史があり、どのように人々の暮らしのなかに根付いているのか、国によって大きく異なります。ひとりのアーティストとして生きていくには、その国の方針や環境も大きく影響するでしょう。とくに、アートのマーケットである「アートフェア」においては、お金がどのようにアートに注がれているのか、大きな違いがありました。たとえば、ニューヨークはアートマーケットが盛んな場所でもあり、開催されるフェアの数や規模も多様です。当然、お金が動く規模もそれに比例するでしょう。アートも歴史的に根付いており、その歴史の文脈に乗っているかどうかが作品の評価基準にもなっているようです。対して、シンガポールは建国50年という、比較的若い国です。美術館や博物館、ギャラリーなども新しく作られたものが多く、アートの歴史もそれほど根付いているわけではないようです。お客さまもアートの文脈を通した視点で作品を見るよりも、どちらかと言えば個々の嗜好で楽しませているようでした。会場となったマリナベイサンズをはじめとして、観光資源となる施設やイベントがたくさん用意されているように、世界から富裕層と言われるひとたちが集まっている印象を受けました。とはいえ、作品は安い買い物ではなく、購入に踏み切るのには、ギャラリーの信頼性やアーティストの認知度など、それなりの理由付けや後押しが必要なのかもしれません。現場でおこ

なった同業者への聞き取りでは、「シンガポールには間違いなく高額購入者はいるが、目が肥えていないために作品の価値を伝えていく必要がある」という意見もありました。まだまだマーケットとして大きく成長していくような可能性を感じさせる場所でした。一方、日本で最大規模のアートフェアは「アートフェア東京」です。このフェアでは「現代アート」だけではなく、「工芸」や「骨董」など多様なジャンルがブースを並べます。国内で開催される「現代アート」のフェアも、ニューヨークなどと比較すると開催数も少なく規模も大きくはありません。また、大型で高額な作品は売れにくい印象もあります。シンガポールでは約30ヶ国ほどの参加国数がありますが、東京ではアジアを中心とした約10ヶ国ほどにとどまります。それだけ、日本においてはマーケットが成熟しにくい現状だと言えるのかもしれませんが、それでも、出展の回数を重ねたり露出の機会が増えたと、購入者やファンも少しずつ増えているように思います。ギャラリーやアーティストの認知度による評価もさることながら、国籍や時代による価値観の違いによっても、好まれる作品・作風が変わってくるのだと思います。参加する国やフェアによってアーティストを選んでいく難しさもありますが、コツコツと経験を重ねながら、実績を積んでいくことが大切だと実感しています。





アートフェアに出展すること

アートフェアは、あくまで作品の売買を行う舞台です。一人でも多くのコレクターを呼び込み、1点でも多くの作品をいかに販売していくのかが問われる世界です。福祉の分野においては、あまり馴染みのない取り組みかもしれませんが、なにより、アートは評価の差が生まれる世界です。全員が評価され、作品が売買されていくわけではありません。購入されることだけが作品の価値ではありませんが、自身の作品を販売することで生計を立てていくことができれば、わたしたちの掲げる「専門的就労」が実現できます。福祉の分野からでも、アートの市場に向けた道を切り開けるのだとしたら、挑戦する意義があると考えています。

アトリエ インカーブのアーティストたちは、多様な希望をもっています。

海外に飛び出し、独立することを望む人もいれば、ひたすらに描くことだけを欲する人もいます。

その多様な希望を叶えられる道はあるだろうか、
なければつくり出すことはできるだろうか、
彼らとともに日常を過ごしながら、わたしたちが問いつづけ、葛藤しつつけているテーマです。

わたしたちの事業は、福祉とアートの両輪です。
福祉という地にしっかりと足をつけ、法律や制度に基づいて彼らの生活基盤を守りながら、
アートの世界でそれぞれにプライドをもって生きていける道を模索しつつけています。

きっと、彼ら以外にも、その道に立つことを願うひとたちがいるはずです。
そんなことを思いえがきながら、わたしたちにできることを取り組んでいます。

大切なことは、彼らが安全に日々を過ごすこと。
これからも、彼らに寄り添い、彼らとともに希望につづく道を目指していきます。

この報告書が、ものづくりが好きな障がいのあるひとたちと、
その想いに寄り添う人たちのすこしでもお役に立てることをこころより願っています。

春の陽射しと桜のにおいをほのかに感じながら。

*「チェックシート」や「作品証明書」など、ご参考にされたい方は、①お名前（ご所属）、②ご利用目的をご記入のうえ、
info@incurve.jp（担当：神谷）までお問い合わせくださいませ。担当者よりデータにて資料をご送付致します。

2015年 12月17日
カホーノカ人ハナ
モ



戦略的芸術文化創造推進事業

「障がいのある人による芸術作品の国内外展示及び作品保管・市場動向調査事業」報告書

発効日：2016年3月31日

発行・編集：アトリエ インカーブ

〒547-0023 大阪市平野区瓜破南1-1-18

t 06-6707-0165 f 06-6707-0175

info@incurve.jp <http://incurve.jp>

主催：社会福祉法人 素王会 アトリエ インカーブ

協賛：ヤマト福祉財団